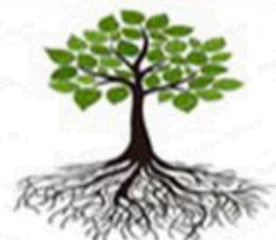


わたしがわたしになる学校

令和3年11月25日 発行責任者 校長 竹下 比登美



府中小学校の強み！

学校長が、オンライン全校朝会で、「府中小学校の強み」について話をしました。

府小っ子の皆さん、今日は、府中小の強みについてお話しします。

その学校がどんな学校かというのは、子供たちの姿を見たら分かると思います。毎日毎日の積み重ねが人をつくるからです。府中小が大事にしている学校の姿は「わたしがわたしになる学校」です。これは、短くいうと、自分の理想とする自分になるために、自分を大切に、他者と認め合いながら、日々成長していく学校ということです。そして、そのために、府小っ子の皆さんに自分の根っこを育ててほしいと思っています。これは、前回の朝会でもお話ししました。正門を入ってくる人は2年生教室のベランダの部分が変化していることに気が付いているかもしれません。正門を使わない人は一度正門側から校舎を見てみてください。正門を入ると、校舎に4枚の横断幕がはってあります。



1枚目は「令和2年度文部科学大臣賞」です。これは、地域連携による早寝早起き朝ごはん運動でいただきました。皆さんの生活リズムカレンダーでの取組や前田先生や阿部先生が行ってくださるメンタルヘルス教育などでいただいた賞です。皆さん、自分の睡眠を考えていますよね。そして、朝ご飯をちゃんといただいていますか。早寝早起き朝ごはんというのは人をつくる基礎になります。そういう意味でいただいた大切な賞です。

2枚目は、「令和3年度文部科学大臣賞優良PTA活動」でいただきました。お掃除参観日の取組や毎週地域の方がお掃除にきてくださったり、いろんな行事にPTA活動の協力がたくさん入っていたりします。皆さんのお家の方が、皆さんの根っこを育てるために取り組んでくださっている取組でいただいたそうです。こんな風に、皆さんの根っこを育てるためにいろんな方が支えてくださっています。

3枚目は、賞ではありませんが、「令和3年度文部科学省子供の読書活動推進事業」というものです。これは、全国で2校が選ばれました。おそらく、東日本で1校、西日本で1校と言われているので、本校は西日本でモデルとなる読書活動の学校ということになります。これまで皆さんが行っている朝読、そして、いろんな場面での読書活動、担任の先生が考えてくださっている読書活動と国語の授業とのリンクした授業展開、そういうものでいただいています。そして、全国的に読書離れが進んでいる中、本校では1ヶ月に1冊も本を読まないという児童は0です。いかに皆さんが本をたくさん読んでいるかですね。そういう取組があって指定を受けた、この文部科学省の新しい生活様式を踏まえた読書活動のモデル校ということになります。そして、「新しい生活様式を踏まえた」というのはどういうことかということ、2年間コロナウイルス感染症の心配が続いています。そんな中で、図書館に行かれない、あるいは学校の図書館に集まらないという学校がたくさんあります。そんな中をどう工夫して子供たちの読書活動を進めているかということなんです。今、皆さんは、自分のパソコンを開くと、学研ライブラリーで本を読むことができますよね。実は、それも、この指定を受けたからできていることなんです。

そして、4枚目です。4枚目は、「第52回博報賞」というものです。一度パソコンを開いて「博報賞」と検索してみてください。1番最初に府中小学校の取組が紹介されています。これは、「コミュニティ・スクールで取り組む図書館で会いましょうプロジェクト」ということでいただきました。これも、皆さんの読書活動の取組、そして、図書コーナーをつくってくださる図書ボランティアの皆さんの取組が評価されてのものです。

今、紹介した4枚の横断幕、これが今の府中小学校の強みです。そして、この強みは府中小学校が「わたしがわたしになる学校」になるためのもの、そして、府小っ子の皆さんの根っこを育てていくものと関係しています。「府中小学校ってどんな学校ですか？」と人に聞かれたときに、「府中小学校は、わたしがわたしになる学校を目指している学校です。私たちの根っこ育てのために、学校や地域やお家の人と一緒に取り組んでいる学校です。府中小学校は読書活動でとってもみんなが本を読む学校です。」というようなことが、自分の言葉で言えたらいいなと考えています。

今日は、府中小学校の強みについてお話ししました。そして、この強みをつくっているのは、皆さん一人一人だということを忘れないでください。

ぼくは、挨拶をしたり読書をしたりすることで根っこを育てて、この学校にふさわしい児童になりたいと思いました。皆さんも根っこを育てて、自分の理想の自分になることができるように頑張ってみてください。



読書活動とコミュニティ・スクールを推進する府中小学校

11月12日（金）第52回博報賞の授賞式がありました。授賞式の際に示された詩に、博報賞に込められた思いを感じます。そして、このようなすばらしい賞を受賞した喜びを、保護者・地域の皆様と一緒に分かち合いたく、ご披露いたします。

子どもが笑顔を見せるとき

笑顔が見える。
子どもたちの内側から、
こんこんと湧きあがる
笑顔が見える。

誰一人、分け隔てることなく、
新しい学びに目を輝かせ、
ことばで心をつなぎあう。
地域を愛し、誇りに思い、
共に生きる喜びを知って、
みんなが、笑顔になる。

押しつけることでは
けつして生まれない子どもの笑顔を
活動の軸において、
「子どもたちの未来」を
皆さまとご一緒に考えていきます。



また、今年度、第32回中国地区学校図書館研究大会兼第64回広島県学校図書館研究大会（広島大会）で府中小学校の取組を発表しました。残念ながらコロナウイルス感染症防止のため誌上発表となりましたが、県内外に広く取組を発信することが出来ました。次の文章は指導助言者である、米子市立福米西小学校元校長井口恵美子先生からのコメントの一部です。

府中小学校の実践は、3年以上に及ぶ実践であり、学校が、家庭・地域と共に様々な切り口で様々な方法で自立的な読み手を育てるために行った取組であった。目指す子供の姿をもとに、長い時間をかけて取り組んでこられた実践であり、学校の中だけではなく地域や周りを巻き込んでの取組である。これからの読書教育を考える上で、個の実践をたくさんの方の参加者と共に生でぜひ聞きたかった。それほど内容の濃いものであった。

府中小学校の実践の中に「学校まるごと図書館構想」というのがある。コミュニティ・スクールの特性を生かして、地域を巻き込んでの取組は圧巻である。2つの図書館と7つの図書コーナーという学校のいたるところに本がある環境づくり、こんなに身近に本があれば、子供たちは何気なく本を手にとって楽しむことができ、本があるのが当たり前前の生活になるだろうと想像できる。図書コーナーの配置も「学習センター」「情報センター」「読書センター」と分けてあり、子供たちが興味をそそられるであろう「いのちの本棚」「創造の森」「未知との遭遇」など、名前の付け方にも工夫がある。また、授業実践も読書活動と学力をつなぐ工夫がいっぱいで、すぐにでも取り入れてみたくなる。さらに、子供たちの読書のモチベーションを上げる自治的な活動も多岐にわたり工夫がなされていて、学校を訪問し、実際に本とともにある子供たちの姿を是非見せていただきたかったと思った。

発表の根底に流れているものに、まず、これからの社会を生きていく子供たちに必要な力を、「読書を楽しむ力」「自分の考えを深め、他者とつながっていくための語彙力」「他者とかかわり、協働する力」としている点にある。「出会い」と「交流」…本との出会い、人との出会い、本との交流、他者との交流、その中で子供たちは、自分の考えを広げ、深め、「自己の生き方」へつなげていくのだと思う。時代が目まぐるしく変化し、昨日のあたりまえがすぐに書き換えられる今日、視野を広げ、他者とつながり、協働しながら答えを見つけていくことがますます求められる。また、未曾有のコロナ禍になり世界が一変したこの2年間。私たちは改めて「より良く生きていくとは」という大きな課題を投げかけられているように思う。こんな時代だからこそ、そしてこれから生きていく子供たちだからこそ益々読書活動を大切にしていける必要があると感じさせられた発表であった。

コメントは、「このような様々な出会いや交流を実現させる取組を継続していくことが大切である」と結ばれています。今後も、取組を深化させ、継続していきます。

未来にいのちをつなげよう「府小っ子ぐんぐんウィーク」

「未来に命をつなげよう～府小っ子が学んだSDGsを伝えよう～」をテーマに11月1日(月)から学級ごとに学習を発表した1週間。たくさんの保護者の方に来ていただきました。

次のメッセージは、発表に際する学校長の言葉です。

保護者の皆様、本日はようこそ「ぐんぐんデー」にお越しくださいました。今年度から、今までの学習発表会とは違った形で子供たちの学びの成果をみていただくことにしました。

今、子供たちの学力観が変わってきています。一つ目は、自分で問題を発見して、自分で解決方法を考え、自分なりの解答を見つけるという探究的な学び、二つ目は、個々が自分の学び方を身に付ける個別最適な学びです。これまでの「いのちの教育」に今年度からSDGsの視点を取り入れています。本日の子供たちの発表は、まだ、完成形ではなく、学びの中間発表となります。子供たちがどんなことに問題を見出し、どんなふうに解決しようとしているのかを知っていただき、学ぶ姿勢を応援してください。

府小っ子の皆さん、これまで自分が学んできたことを自信をもって伝えましょう。学んだことをインプットで終わらせず、アウトプットすることでさらに学びが深くなります。1年生の皆さんは、元気な姿を見ていただきましょう。



当日熱心に聞いていただき、直接子供たちに感想を伝えてくださったり、後日お手紙をいただいたりし、子供たちが「やってよかった。伝えることができた。」と達成感や充実感を味わうことができました。当日の様子はホームページでも紹介していますので、併せてごらんください。



1年生 ふしょうっこ わくわくたんけんたい
～むしはかせに なろう～

発表会に感動しました。大人でも知らないことや、気付かなかったこともあり、とても低学年の発表とは思えないほどの内容で素晴らしいかったです。



2年生 人にやさしい町の工夫を見つけよう



3年生 府中町ステキ発見！発信隊！！



4年生 あなたはアクリルたわしを使いますか



5年生 未来につなぐ わたしたちの想い

子供たちのそれぞれの思いや願いがスライドに表現されていて感動しました。
我が子にこのような力があることに驚き、嬉しく思いました。



6年生 「志」未来に向かって

ことばの力を発揮して続々と受賞！府小っ子の活躍

児童がことばの力を発揮して作品を応募した中から嬉しい受賞がありましたので紹介します。府中小学校では、機会を見つけて作品応募にチャレンジしています。受賞した児童は、学校長から表彰状を手渡しています。また、校外で表彰された児童は学校長へ報告に来ます。表彰を受けた児童はこれを励みに、これからさらに頑張ってくれることと思います。今後もことばの力を発揮する場を設け、チャレンジを続けていきます。



令和3年度「税に関する絵はがきコンクール」受賞者
入選 6年 加藤 愛梨 川崎 彩葉 本地 将大



令和3年度府中町人権啓発書道コンテスト受賞者

町長賞 6年 河野 桃夏 5年 相澤 千智

教育長賞 6年 山内 玲央 岩本 明日香

5年 関東 詩歩 中矢 奈那実

奨励賞 6年 今谷 心春 中本 茉咲 田澤 裕徳 川崎 彩葉

藤田 海音 松崎 桃佳 兼本 泰我 高濱 莉音

5年 山田 心陽 大田 莉央 土屋 紗月 福田 碧

武内 智也 高山 美侑 藤岡 愛果 三宅 希美

池尻 彩羽 佐伯 京香

新明 碧羽 中村 友香



令和3年度「環境と健康の標語コンクール」受賞者

【高学年の部：環境】

広島県教育委員会賞 6年 山本 あかり

広島県環境保健協会奨励賞 6年 坊田 彩佳

府中町公衛協会賞 5年 福田 碧 4年 和田 理衣奈 東矢 彩未

府中町公衛協会奨励賞 6年 政信 友貴歩 松重 航太郎

5年 益田 知晃 横原 ゆい 4年 寺崎 亜希子

【低学年の部：健康】

府中町公衛協会賞 2年 島野 千尋 西田 冴助 1年 横田 陽樹

府中町公衛協会奨励賞 3年 大永 有起 矢熊 翔人 木戸 芽衣子 津丸 幸多

2年 上原 千楓 1年 近藤 暖真 宮迫 紗羽

令和3年度「府中町ポップコンテスト」優秀作品受賞者

教育長賞 6年 藤田 海音 府中町立図書館賞 堀間 智継

本好き愛が伝わる賞 5年 戸澤 貴仁 西本 展 学校司書賞 坊田 彩佳

つばき賞（表現力豊かで賞） 6年 少前 栞奈 5年 渡邊 亜美 関東 詩歩

家庭でも根っこ育て～物を大切に、人を大切に～

右の写真は、中央階段1階横に設置している落し物置き場の様子です。これまで数点置いてあっても、名前が書いてあるハンカチなどで、すぐ持ち主の元に戻っていました。しかし、急に寒くなった影響か、最近名前の書かれていない上着や手袋など防寒着の落し物が増えており、数週間経っても持ち主が現れません。名前を書くことや自分で準備することで、「自分の物」として子供自身が意識することができます。また、子供たちの持ち物は、子供たちを大切に思う心が込められているものです。学校でも家庭でも地域の中でも、物を大切にするとは、その背景にいる人を大切にするということだということを語りながら手渡したいものです。



物を大切にするために

- ・名前をはっきりと書く
- ・自分で準備をする

ありがとうございます！府小っ子のために

いつも多くの方々に、府中小学校を思う気持ちを表に表していただいています。今月もたくさんのボランティア活動やPTA活動を行っていただきました。府中小学校をコミュニティの核として活動が深まっていることを嬉しく思います。いつも府中っ子の学びを支えていただきありがとうございます。



地域の方からいただいた
ベルマーク



さわやか挨拶運動でぐんぐんカードの配付をしてくださる保護者の方
これまでの挨拶運動の中で参加人数最多！！12月もお待ちしております。



大きな声
で挨拶をし
て、ぐんぐ
んカードを
もらいま
した！！



読み聞かせが終わった後、「ひだまり」の皆さんが「いのちの本棚」で交流したり新しい本と出会ったりしている様子。

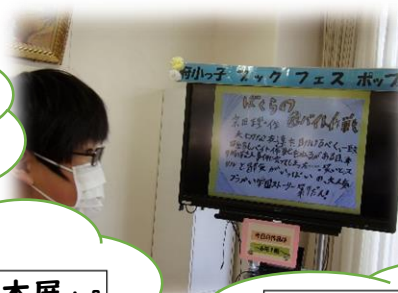
「府小っ子ブックフェス」やっています！

今年度力を入れて取り組んでいることの一つに委員会活動があります。府中小学校には図書委員会と読書活動委員会という読書に関わる2つの委員会があり、11月・12月の「読書推進期間」を「府小っ子ブックフェス」として位置付けることで、これまで向上した児童の読書に対する意識をさらに高める取組をしています。この期間は、委員会が考えた楽しい内容が盛りだくさんです。子供たち同士が本を紹介する活動を中心に、読書の幅が広がってくれることを願っています。



①府小っ子ポップ展

高学年が作成したPOPをいのちの本棚の電子黒板のスクリーンで写しています。



③『府小っ子古典ウィーク「古典本展」』

担任による古典本の読み聞かせといのちの本棚で「古典本展」を行いました。

②府小っ子本の総選挙結果発表

1学期末に実施した「本の総選挙」の結果を発表しました。

④続・新刊本展

11月15日～11月30日の期間いのちの本棚で行っています。

⑤読書の木

本を借りるともらえるジャンルの色のシールを台紙に貼って読書の実らせます。



⑥府小っ子ビブリオバトル大会
学級のチャンプ本を決定し、学年ブロックでオンラインビブリオバトル大会を行います。

12月の行事予定・下校時刻予定表

府中中学校
校長 竹下 比登美

日	曜	行事予定	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	水	放課後子供教室	14:50	14:50	14:50	14:50	14:50	14:50
2	木		14:50	14:50	15:40	15:40	15:40	15:40
3	金	読み聞かせ5・6年 諸費振替日 ALT	14:50	14:50	14:50	15:40	15:40	15:40
4	土							
5	日							
6	月	委員会活動 ALT	14:10	14:10	15:00	15:00	15:40	15:40
7	火	町SC(AM)	14:50	15:40	15:40	15:40	15:40	15:40
8	水	放課後子供教室	14:50	14:50	14:50	14:50	14:50	14:50
9	木	お掃除班活動・授業参観(本町2～4丁目、石井城、城ヶ丘、その他、大通3丁目、宮の町、山田)	14:50	14:50	15:40	15:40	15:40	15:40
10	金	読み聞かせ1・2年 諸費再振替日 ALT	14:50	14:50	14:50	15:40	15:40	15:40
11	土	個人懇談会						
12	日							
13	月	よみきかセンセイ ALT	14:50	14:50	15:40	15:40	15:40	15:40
14	火	総合学力調査実施(1h質問紙2h算数3h国語) SSW	14:50	15:40	15:40	15:40	15:40	15:40
15	水		14:50	14:50	14:50	14:50	14:50	14:50
16	木	特支アドバイザー6h SC(9:15～15:00)	14:50	14:50	15:40	15:40	15:40	15:40
17	金	さわやかあいさつ運動 読み聞かせ3・4年 クラブ活動(3年見学)府小っ子ビブリオバトル大会(1h低学年2h中学年3h高学年)ALT	14:40	14:40	15:40	15:40	15:40	15:40
18	土							
19	日							
20	月	職員研修のため14:30下校 ALT	14:30	14:30	14:30	14:30	14:30	14:30
21	火		14:50	15:40	15:40	15:40	15:40	15:40
22	水		14:50	14:50	14:50	14:50	14:50	14:50
23	木	2学期終業式	14:50	14:50	14:50	14:50	14:50	14:50
24	金	冬季休業						
25	土							
26	日							
27	月							
28	火							
29	水							
30	木							
31	金							

※ 下校時刻は、学校出発時刻です。行事等で多少、下校時刻が異なることもあります。
下校時刻が大幅に変更になった場合は、緊急メールやあらかじめ通信等でお知らせいたします。
※ 行事の関係でこれより遅くなることがあります。

ご協力お願いします

雑巾や足拭きに使用する古バスタオルを集めています。12月11日(土)の個人懇談会の際、児童玄関近くに回収箱を準備しておきます。ご協力をよろしくお願いします。

